

# 病 院 事 業 会 計

# 輪 島 市 病 院 事 業 会 計

## １．業務状況について

平成２９年度の業務実績では、延べ入院患者数は 58,498 人で、前年度（55,923 人）と比べ 2,575 人(4.60%)増加し、延べ外来患者数は 127,171 人で、前年度(128,134 人)と比べ 963 人(0.75%)減少している。また、延べ入院・外来患者数の合計は 185,669 人で前年度(184,057 人)に比べ 1,612 人(0.88%)の増加となっている。

## ２．予算決算について（税込み）

（１）収益的収入及び支出

（単位：円・％）

項 目	収 入			項 目	支 出		
	予算額	決算額	収入率		予算額	決算額	執行率
病院事業収益	3,849,174,000	3,824,951,903	99.37	病院事業費用	3,702,049,000	3,545,346,508	95.77
医業収益	3,323,033,000	3,295,542,316	99.17	医業費用	3,456,153,000	3,322,899,769	96.14
西保診療所 医業収益	210,000	191,124	91.01	西保診療所 事業費用	1,346,000	854,353	63.47
舩倉診療所 医業収益	9,000,000	8,907,993	98.98	舩倉診療所 事業費用	28,067,000	25,452,763	90.69
南志見診療所 医業収益	1,300,000	1,494,041	114.93	南志見診療所 事業費用	2,265,000	2,013,583	88.90
七浦診療所 医業収益	520,000	675,837	129.97	七浦診療所 事業費用	1,227,000	927,021	75.55
医業外収益	431,399,000	433,604,920	100.51	医業外費用	185,379,000	180,689,380	97.47
保育施設収益	1,201,000	1,263,950	105.24	保育施設費用	12,612,000	12,203,739	96.76
特別利益	82,511,000	83,271,722	100.92	特別損失	5,000,000	305,900	6.12
				予備費	10,000,000	0	-

収益的収入について、予算額で 38 億 4,917 万 4 千円、決算額で 38 億 2,495 万 2 千円、予算に対する収入率は医業収益で 99.17%、医業外収益で 100.51%、保育施設収益で 105.24%となっている。

収益的支出について、予算額で 37 億 204 万 9 千円、決算額で 35 億 4,534 万 7 千円、予算額に対する執行率は医業費用で 96.14%、医業外費用で 97.47%、保育施設費用で 96.76%となっている。

## (2) 資本的収入及び支出

(単位：円・%)

項 目	収 入			項 目	支 出		
	予算額	決算額	収入率		予算額	決算額	執行率
資本的収入	393,678,000	395,172,231	100.38	資本的支出	572,078,000	567,514,750	99.20
企業債	94,700,000	94,700,000	100.00	建設改良費	108,033,000	104,970,816	97.17
他会計負担金 及び補助金	298,973,000	298,972,231	100.00	企業債償還金	459,845,000	459,843,934	100.00
補助金	2,000	0	0.00	長期貸付金	4,200,000	2,700,000	64.29
固定資産 売却代金	1,000	0	0.00				
寄附金	1,000	0	0.00				
返還金	1,000	1,500,000	150000.00				

(資本的収入額 395,172,231 円－資本的支出額 567,514,750 円＝△172,342,519 円)

不足額 1 億 7,234 万 2,519 円は、過年度分損益勘定留保資金 1 億 7,203 万 8,858 円、当年度分消費税及び地方消費税  
資本的収支調整額 30 万 3,661 円で補てんしている。

## 3. 損益計算について

総収益 38 億 1,367 万 7 千円に対し、総費用は 35 億 3,637 万 1 千円で、収支差引で 2 億 7,730 万 6 千円の純利益となっている。

## (1) 収益の部

(単位：円・%)

科 目	平成 29 年度		平成 28 年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
医業収益	3,297,037,950	86.45	3,183,019,527	86.03	114,018,423	3.58
入院収益	1,857,591,722	48.71	1,730,289,107	46.76	127,302,615	7.36
外来収益	1,237,357,970	32.45	1,261,264,919	34.09	△ 23,906,949	△ 1.90
その他医業収益	202,088,258	5.30	191,465,501	5.17	10,622,757	5.55
医業外収益	433,367,215	11.36	437,101,474	11.81	△ 3,734,259	△ 0.85
本院医業外収益	432,192,318	11.33	436,156,691	11.79	△ 3,964,373	△ 0.91
保育施設収益	1,174,897	0.03	944,783	0.03	230,114	24.36
特別利益	83,271,722	2.18	79,858,406	2.16	3,413,316	4.27
収 益 計	3,813,676,887	100.00	3,699,979,407	100.00	113,697,480	3.07
当年度純損失	0	－	0	－	0	－
合 計	3,813,676,887	100.00	3,699,979,407	100.00	113,697,480	3.07

## (2) 費用の部

(単位：円・%)

科 目	平成 2 9 年度		平成 2 8 年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
<b>医業費用</b>	<b>3,305,985,151</b>	<b>86.69</b>	<b>3,300,655,737</b>	<b>89.21</b>	<b>5,329,414</b>	<b>0.16</b>
給与費	1,819,954,298	47.72	1,851,067,496	50.03	△ 31,113,198	△ 1.68
材料費	619,968,348	16.26	596,368,838	16.12	23,599,510	3.96
経費	632,369,590	16.58	617,493,937	16.69	14,875,653	2.41
減価償却費	224,680,445	5.89	225,474,714	6.09	△ 794,269	△ 0.35
資産減耗費	3,380,514	0.09	4,316,829	0.12	△ 936,315	△ 21.69
研究研修費	5,631,956	0.15	5,933,923	0.16	△ 301,967	△ 5.09
<b>医業外費用</b>	<b>218,457,831</b>	<b>5.73</b>	<b>232,731,719</b>	<b>6.29</b>	<b>△ 14,273,888</b>	<b>△ 6.13</b>
支払利息及び 企業債取扱諸費	114,415,214	3.00	125,548,738	3.39	△ 11,133,524	△ 8.87
長期前払消費税償却	10,053,920	0.26	15,099,714	0.41	△ 5,045,794	△ 33.42
患者外給食材料費	1,339,910	0.04	1,564,132	0.04	△ 224,222	△ 14.34
雑支出	89,680,457	2.35	86,434,315	2.34	3,246,142	3.76
医療従事者確保経費	525,000	0.01	1,200,000	0.03	△ 675,000	△ 56.25
雑損失	2,443,330	0.06	2,884,820	0.08	△ 441,490	△ 15.30
<b>保育施設費用</b>	<b>11,623,978</b>	<b>0.30</b>	<b>13,700,493</b>	<b>0.37</b>	<b>△ 2,076,515</b>	<b>△ 15.16</b>
給与費	0	0.00	5,566,828	0.15	△ 5,566,828	△ 100.00
材料費	211,301	0.01	229,880	0.01	△ 18,579	△ 8.08
経費	9,957,638	0.26	6,448,746	0.17	3,508,892	54.41
減価償却費	1,455,039	0.04	1,455,039	0.04	0	0.00
資産減耗費	0	0.00	0	0.00	0	-
<b>特別損失</b>	<b>304,351</b>	<b>0.01</b>	<b>1,005,434</b>	<b>0.03</b>	<b>△ 701,083</b>	<b>△ 69.73</b>
<b>費 用 計</b>	<b>3,536,371,311</b>	<b>92.73</b>	<b>3,548,093,383</b>	<b>95.89</b>	<b>△ 11,722,072</b>	<b>△ 0.33</b>
当年度純利益	277,305,576	7.27	151,886,024	4.11	125,419,552	82.57
<b>合 計</b>	<b>3,813,676,887</b>	<b>100.00</b>	<b>3,699,979,407</b>	<b>100.00</b>	<b>113,697,480</b>	<b>3.07</b>

#### 4. 貸借対照表について

##### (1) 資産の部

(単位：円・%)

科 目	平成29年度		平成28年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
<b>固定資産</b>	<b>4,368,204,318</b>	<b>77.84</b>	<b>4,511,336,637</b>	<b>79.67</b>	<b>△ 143,132,319</b>	<b>△ 3.17</b>
有形固定資産	4,329,387,090	77.15	4,469,856,444	78.94	△ 140,469,354	△ 3.14
投資その他	38,817,228	0.69	41,480,193	0.73	△ 2,662,965	△ 6.42
<b>流動資産</b>	<b>1,243,463,430</b>	<b>22.16</b>	<b>1,150,909,789</b>	<b>20.33</b>	<b>92,553,641</b>	<b>8.04</b>
現金預金	724,690,116	12.92	612,863,082	10.83	111,827,034	18.25
未収金等	516,391,095	9.20	534,001,333	9.43	△ 17,610,238	△ 3.30
貯蔵品	2,322,219	0.04	3,985,374	0.07	△ 1,663,155	△ 41.73
前払費用	60,000	0.00	60,000	0.00	0	0.00
<b>繰延勘定</b>	<b>0</b>	<b>-</b>	<b>0</b>	<b>-</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
控除対象外消費税額	0	-	0	-	0	-
<b>合 計</b>	<b>5,611,667,748</b>	<b>100.00</b>	<b>5,662,246,426</b>	<b>100.00</b>	<b>△ 50,578,678</b>	<b>△ 0.89</b>

##### (2) 負債・資本の部

(単位：円・%)

科 目	平成29年度		平成28年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
<b>固定負債</b>	<b>4,043,048,725</b>	<b>72.05</b>	<b>4,538,851,191</b>	<b>80.16</b>	<b>△ 495,802,466</b>	<b>△ 10.92</b>
企業債	3,156,247,725	56.25	3,533,461,191	62.40	△ 377,213,466	△ 10.68
退職給与引当金	879,997,000	15.68	988,380,000	17.46	△ 108,383,000	△ 10.97
リース債務	6,804,000	0.12	17,010,000	0.30	△ 10,206,000	△ 60.00
<b>流動負債</b>	<b>953,870,697</b>	<b>17.00</b>	<b>841,421,206</b>	<b>14.86</b>	<b>112,449,491</b>	<b>13.36</b>
企業債	471,913,466	8.41	459,843,934	8.12	12,069,532	2.62
引当金	118,228,000	2.11	114,545,000	2.02	3,683,000	3.22
リース債務	10,206,000	0.18	10,206,000	0.18	0	0.00
未払金	337,424,793	6.01	245,858,312	4.34	91,566,481	37.24
その他流動負債	16,098,438	0.29	10,967,960	0.20	5,130,478	46.78
<b>繰延収益</b>	<b>911,382,943</b>	<b>16.24</b>	<b>893,217,547</b>	<b>15.77</b>	<b>18,165,396</b>	<b>2.03</b>
長期前受金	911,382,943	16.24	893,217,547	15.77	18,165,396	2.03
<b>資本金</b>	<b>1,565,129,174</b>	<b>27.89</b>	<b>1,565,129,174</b>	<b>27.65</b>	<b>0</b>	<b>0.00</b>
<b>剰余金</b>	<b>△ 1,861,763,791</b>	<b>△ 33.18</b>	<b>△ 2,176,372,692</b>	<b>△ 38.44</b>	<b>314,608,901</b>	<b>△ 14.46</b>
資本剰余金	477,006,765	8.50	439,703,440	7.77	37,303,325	8.48
利益剰余金	△ 2,338,770,556	△ 41.68	△ 2,616,076,132	△ 46.20	277,305,576	△ 10.60
<b>合 計</b>	<b>5,611,667,748</b>	<b>100.00</b>	<b>5,662,246,426</b>	<b>100.00</b>	<b>△ 50,578,678</b>	<b>△ 0.89</b>

資産の部においては、固定資産で43億6,820万4千円、流動資産で12億4,346万3千円となっている。なお、有形固定資産43億2,938万7千円の内訳は、土地12億2,512万5千円、建物25億3,288万円、構築物1億3,377万9千円、器械備品4億1,960万7千円、車両運搬具224万6千円、リース資産1,575万円である。

負債・資本の部においては、固定負債40億4,304万9千円、流動負債9億5,387万1千円、繰延収益9億1,138万3千円、資本金15億6,512万9千円、剰余金（欠損金）18億6,176万4千円となっている。

## 5. 経営分析

自己資本構成比率等について、最近3か年の推移を見ると、次のとおりである。

(単位：％)

項 目	平成29年度	平成28年度	平成27年度	説 明
自己資本構成比率	△ 6.31	△ 12.82	△ 16.07	総資本に対する自己資本の占める割合を示すもので、比率が大きいほど安全性は大である。
流 動 比 率	130.36	136.78	137.71	流動負債に対する流動資産の割合、すなわち企業の支払能力をみるもので、比率は200％以上大きいほど良好。
総 収 支 比 率	107.84	104.28	105.76	総費用に対する総収益の割合、すなわち企業の収支のバランスをみるもので、比率は100％以上大きいほど良好。
人件費対総費用比率	51.46	52.17	49.93	総費用に対する人件費の割合をみるもので、比率は小さいほど良好。
純利益対総収益比率	7.27	4.11	5.44	総収益のうち、最終的に企業に残されて純利益となっているものの割合を示すもので、比率は大きいほど良好。
企 業 債 償 還 額 対 総 収 益 比 率	12.06	12.40	11.91	総収益に対する企業債償還額の割合をみるもので、比率は小さいほど良好。

## むすび

以上が輪島市病院事業会計における平成 29 年度決算の概要である。

平成 29 年度における入院患者数は 58,498 人で、前年度(55,923 人)に比べ 2,575 人(4.60%)の増加となった。また、外来患者数は 127,171 人で、前年度(128,134 人)に比べ 963 人(0.75%)の減少となった。しかしながら入院患者数の増加に伴い病床利用率は 80.54%と前年度(76.78%)に比べ 3.76 ポイントの増加となった。

病院総事業収益は 38 億 1,367 万 7 千円で、前年度(36 億 9,997 万 9 千円)に比べ 1 億 1,369 万 7 千円(3.07%)の増加となった。一方、病院総事業費用は 35 億 3,637 万 1 千円で、前年度(35 億 4,809 万 3 千円)に比べ 1,172 万 2 千円(0.33%)の減少となっており、収支差引 2 億 7,730 万 6 千円の純利益となり前年度(1 億 5,188 万 6 千円)に比べ 1 億 2,542 万円(82.57%)の増加となった。

平成 28 年 10 月より導入した地域包括ケア病棟による診療単価の増加及び外来診療単価の増加により、医業収益は 32 億 9,703 万 8 千円となり、前年度(31 億 8,301 万 9 千円)に比べ 1 億 1,401 万 8 千円(3.58%)の増加となった。医業費用は退職手当の減少による人件費の減少、医業費用全体においては、33 億 598 万 5 千円となり、前年度(33 億 65 万 6 千円)に比べ 532 万 9 千円(0.16%)の微増にとどまった。この結果医業収支は前年度(△1 億 1,763 万 6 千円)に比べ 1 億 868 万 9 千円減少し医業損失は 894 万 7 千円と大きく改善した。

経常収支においては、1 億 9,433 万 8 千円の経常利益を計上している。前年度(7,303 万 3 千円)に比べ 1 億 2,130 万 5 千円の増加となった。この主な内容は一般会計からの負担金・交付金 1 億 2,330 万 7 千円、長期前受金戻入の 1 億 6,149 万 3 千円、一般会計補助金 1 億 584 万 6 千円が主なものである。

資本的収支においては、総収入額 3 億 9,517 万 2 千円、総支出額 5 億 6,751 万 4 千円である。建設改良費の主なものは、下水道への接続工事、空調設備の改修、医療設備では耳鼻咽喉科内視鏡システムの更新等を実施した。資本的収入が資本的支出に不足する額 1 億 7,234 万 3 千円については、過年度分損益勘定留保資金 1 億 7,203 万 9 千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 30 万 4 千円でこれを補てんしている。

企業債については、36 億 2,816 万 1 千円の未償還残高があり、そのうち病院移転用地に係る分が 4 億 9,939 万 9 千円、移転改築に係る分が 26 億 2,557 万 8

千円、その他医療機器等に係る分が 5 億 318 万 3 千円である。なお今年度において、施設整備に係る分として 3,240 万円、医療機器に係る分として 6,230 万円の新規借り入れを行っている。今後とも、耐用年数が経過した医療機器等の更新や購入は、病院の経営状況を勘案した中長期的な購入計画により実施されたい。

人生 100 年時代との話を耳にするが、その実現には市民が安心・安全に暮らすうえで信頼のある地域医療機関があること。そして中核的な医療施設と関連した各種施設とが密接なネットワークにより結ばれていることが重要である。これは平成 29 年度に作成された「第 3 次市立輪島病院改革プラン」の目標の一つでもある。平成 32 年度までの 4 か年にわたり病院運営について点検・評価を行う協議会のもとで経営の健全化とともに地域医療の充実を進める努力が進められている。誰もが健康で長生きできることを願っている。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを少子高齢化や人口減少が進む中であってほしい。

市内唯一の病院として地域の高度な医療ニーズに応えるため、医師をはじめ看護師・医療技術者の確保を図り強固な診療体制の構築をはじめ、病院経営の効率化のため職員研修の充実、事務職員の人材育成を充実する等、市民や来訪者に良質なサービスを提供できるよう弛まぬ努力を傾注していただきたい。